令和８年度　10月号No.2

「一人ひとりが輝く 楽しい学校」

東泉丘小学校だより

令和８年（2026年）10月14日発行

（10/17）第49回運動会

子どもたちは運動会に向けて、毎日練習や準備に励んでいます。競技や演技の完成をめざす中で、子どもたちは日々の練習を通して着実に上達しています。運動会は当日の成果に目が向きがちですが、練習を重ねる中で少しずつできることが増え、上達していく過程こそ大切にしたいと考えています。当日、子どもたちがその成果を発揮する姿を今から楽しみにしています。保護者の皆様には、お子様はもちろん、すべての子どもたちの挑戦にも温かい拍手とご声援をお願いいたします。子どもたちにとって心に残る運動会となるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

JICA視察団が来校されました。（10/6）





日本の学校教育の仕組みや実践を視察し、自国の教育施策に生かすことを目的として、国際協力機構（JICA）を通じて14か国15名の方々が本校を訪問されました。参加されたのは、ボツワナ、カメルーン、エジプト、ジャマイカ、ヨルダン、ラオス、マラウイ、ミクロネシア、ナミビア、ネパール、スリランカ、スリナム、ウズベキスタン、バヌアツの皆様です。参加者は、各国の政府・官公庁関係者をはじめ、教育政策や教員養成に携わる研究者、大学教員の皆様でした。

今回の視察は、主に支援教育（インクルーシブ教育）の制度や実践について学ぶことを目的として行われました。しかし、視察が始まると、小学校の仕組みや学校運営全般についても多くの質問が寄せられ、限られた時間ではお答えしきれないほどでした。子どもたちにとってはもちろん、私たち教職員にとっても、国際的な視点から学校や教育活動を見つめ直す貴重な機会となりました。

視察団の皆様には、子どもたちと一緒に給食の時間を過ごしていただくなど、実際の学校生活を体験していただきました。その際、昼食用に持参されていたバナナを見た子どもたちが「バナナは朝ごはんに食べるものだよ」と声をかけたという微笑ましいエピソードがあり、それをきっかけに日本の給食の制度や運営方法にも大きな関心が寄せられました。参加された国々では、「子どもの権利条約」や「障害者権利条約」の理念に基づいた教育の充実が進められており、教育制度や支援体制の整備に対する意識が非常に高く、多岐にわたる質問が飛び交いました。具体的には、学校・市・府・国の役割分担や、通級指導教室の運営、職員配置の仕組みに加え、保健室で子どもたちの健康を支える養護教諭の役割など、日本の学校教育の特色あるシステムに対して深い関心が寄せられました。

視察団の皆様からは、「自国ではすぐに実現することが難しい取り組みもあったが、大変参考になった。」「学習中、困っている子どもに周囲の子どもたちが自然に声をかけ、助け合っていた。」「仲間とともに生き生きと活動していた。」「子どもたちが先生の話を集中して聞いていたことに驚いた。」「チャイムの音色が優しく、自国の学校との違いを感じた。」などの感想をいただきました。また、折り紙をプレゼントされたことや、子どもたちと直接交流できたことを喜ぶ声も多く聞かれました。



なお、視察団の皆様からお礼として記念品をいただきました。現在、校長室前の壁面に展示しておりますので、ご来校の際はぜひご覧ください。

教育実習生が学んでいます。（9/28～）

今年度も、本校に２名の教育実習生が来ています。１年２組と４年１組にそれぞれ配属され、担任の指導のもと、授業や学級経営について実践的に学んでいます。また、他の学年や学級の授業等も見学しながら、幅広く学校教育について学んでいます。

子どもたちとの関わりを通して多くのことを学び、将来、豊中市の学校教育を支える教員として活躍してくれることを期待しています。実習期間中、保護者や地域の皆様におかれましても、温かく見守っていただきますようお願いいたします。